

健康な毎日を守る

特定健診!

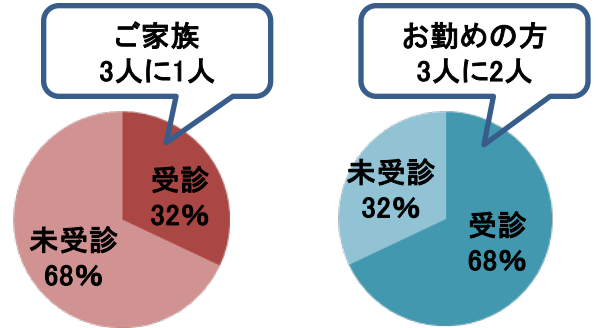
Q1. 会社にお勤めの方のご家族は、どのくらいの方が特定健診を受けているのでしょうか?

特定健診に関する問題です!



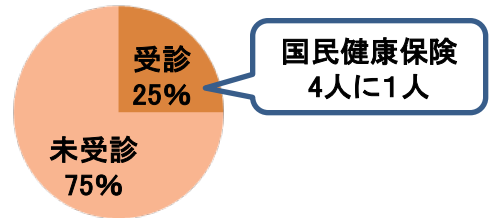
Q2. 国民健康保険に加入している方は、どのくらいの方が特定健診を受けているのでしょうか?

A1. ご家族は3人に1人しか受けていません。



※ 健康チェックは、家族みんなに必要です!

A2. 自営業の方や退職者など「国民健康保険」の県内加入者は、4人に1人しか受けていません。



※ 自分の健康を守るのはあなたです!

特定健診は、内臓脂肪が原因で、自覚症状がないまま進行してしまう生活習慣病を早期に発見します。

家族のために、自分のために特定健診を受診しましょう。

40歳から74歳までのすべての方が対象です。

詳しくは加入している医療保険者(健康保険証の発行元)へお問い合わせください。

75歳以上(後期高齢者医療)の方も健康診査を実施しています。

詳しくはお住まいの市区町村へお問い合わせください。

神奈川県保険者協議会

検索

<http://www.kanagawa-kokuho.or.jp/kyogikai/>

※ 特定健診等やがん検診の実施機関などが閲覧できます。

(全国健康保険協会・健康保険組合・共済組合・国民健康保険・後期高齢者医療広域連合・神奈川県医師会・神奈川県)

どうして特定健診を受ける必要があるの？

まだ、若いから
必要ないかな。
健康だから、大丈夫。



仕事も家事も忙しいし、
健診に行っている暇なん
て無いわ。



毎年、人間ドックを
受けているから、
他に健診はいらない
よ。



一人当たりの医療費は、20歳代から増え始め、**60歳代では40歳代の2.5倍以上**になると言われています。40歳になったら、必ず健診を受けることで、生活習慣病の予防、早期発見ができ、将来かかる医療費を抑えることができます。

仕事で活躍できるのも、家族を支えられるのも、健康であってこそです。今までの健診で、既に糖尿病や高血圧の治療が必要な方も見つかっています。

人間ドックの結果を提出することで、特定健診に代えることができます。数値が基準を超えれば、健康づくりのプロから一人一人にあった**特定保健指導**が受けられます！
※詳しくは各保険者へお尋ねください。

特定健診で何が分かるの？

	検査項目	結果からわかること
肥満度	腹囲・身長・体重(BMI)	内臓脂肪型肥満など
糖尿病	空腹時血糖・HbA1c・尿検査	糖尿病・糖尿病予備群であるか
高血圧	収縮期血圧・拡張期血圧	高血圧であるか (数値が高いと動脈硬化を促進します)
脂質異常症	中性脂肪・HDLコレステロール・LDLコレステロール	動脈硬化のリスク
肝機能	AST(GOT)・ALT(GPT)・γ-GT(γ-GPT)	脂肪肝・肝炎など肝臓の傷み具合

☆健診結果が一定基準を超えると、特定保健指導のお知らせをします。ぜひ受けましょう！！

まわりに健診行っていない人がいたら、
どんどん勧めてね！

